

No	基本目標	質問項目	要望等
1	全体	「第3期神奈川県まち・ひと・しごと創生総合戦略2025年度評価報告書(案)」について	今回の評価結果で明らかになった課題や、評価部会からの意見を今後の施策の改善にしっかりと生かし、総合戦略に掲げる取組を着実に進めていただくよう求める。 また、次期総合戦略については、これまでの10年間の地方創生の成果や課題を十分に検証するとともに、総合戦略がこれまで果たしてきた役割も踏まえて、「新かながわグランドデザイン」との関係性もしっかりと整理しながら、より効果的に地方創生が推進できるよう、その在り方について、十分に検討を進めていただくことを要望する。
2	全体	「第3期神奈川県まち・ひと・しごと創生総合戦略2025年度評価報告書(案)」について	行政の構想や計画、結果の評価については分かりやすいものでなければならない。同じ項目について、様々な部局から異なる内容が出されると、どのような基準で自己評価を行い、また、(どのような基準で)第三者の評価を得ているのかが分かりにくい。 両計画(第3期神奈川県まち・ひと・しごと創生総合戦略と新かながわグランドデザイン実施計画)とも、ちょうど(同時期に)期限を迎えると聞いたので、次期計画に向けては、県民から見て分かりやすい政策の目標を掲げ、また、分かりやすい評価となるようにしてほしい。
3	全体	「第3期神奈川県まち・ひと・しごと創生総合戦略2025年度評価報告書(案)」について	評価報告書は、過去の取組を評価して終わるためのものではなく、次の一步を踏み出すためのものである。特に、KPIの数字だけを見るのではなく、県民の暮らしがどのように変わったのか、現場で何が起きているのかなど、その数字の先にあるものを丁寧に捉えていただきたい。そして、評価によって見えてきた課題を、次の施策、予算、事業の改善に、確実につなげていただきたい。 また、地方創生に係る課題は、複合的であることを踏まえると、評価結果を特定の部局に共有するだけでなく、部局横断で共有・評価する仕組みを作り、県政全体の政策改善につなげる体制が必要となる。行政が取り組み、議会が議論し、地方創生推進会議が専門的な視点から検証し、県民がそのプロセスを知り、成果を実感する、こうした政策の循環を作ることが地方創生を実効性のあるものとしていくために重要となる。 県民が今の暮らしだけではなく、これからの神奈川県でどのように暮らしていけるのかという明るい未来を抱けるように、今回の評価報告書を、次の政策を生み出すための大切な材料として最大限に活用し、県民の暮らしの改善につなげていただくことを要望する。
4	基本目標2	県西地域活性化プロジェクトの推進について	「me-byo エクスプラザ」のリニューアルについて、お金をかけて改修していくことも重要であるが、お金をかけずにできることについても今一度見直してもらい、リニューアルを実施して欲しい。 「県西地域活性化プロジェクト」の改定にあたっては、実効性のあるプロジェクトになるよう、市町や関係団体等の意見を聞きながら、丁寧に進めて欲しい。
5	基本目標2	かながわシープロジェクトの推進について	海上交通について、より多くの方に伝わる広報や、より多くの方に参加していただける内容にグレードアップしてもらおうなど、効果的に事業を実施していただくよう要望する。
6	基本目標3	県立高校専門学科における質の高い教育の充実について	様々な業界で人材不足が問題となっている中、専門高校の生徒にどれだけ視点を向けてもらえるかが重要になってくると思うので、専門高校の取組をしっかりと進めて、人材育成に取り組んでいただきたい。